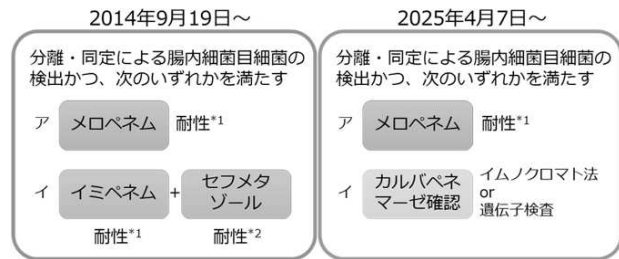


カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症

別添3

届出基準変更の経緯

- 2014年9月19日から5類感染症に指定
- 指定当時はメロペネムの感受性検査を行っていない医療機関が多かったため、改正前のイの基準を設けていた
- CREでは、主にカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌(CPE)が問題となるため、CPEの動向把握が重要であるが、改正前のイの基準ではカルバペネマーゼ非産生菌(non-CPE)が多く含まれたこと、また、医療機関でのメロペネム感受性試験やCPE検出の検査法が普及してきたことから、令和7年4月7日に届出基準が改正された

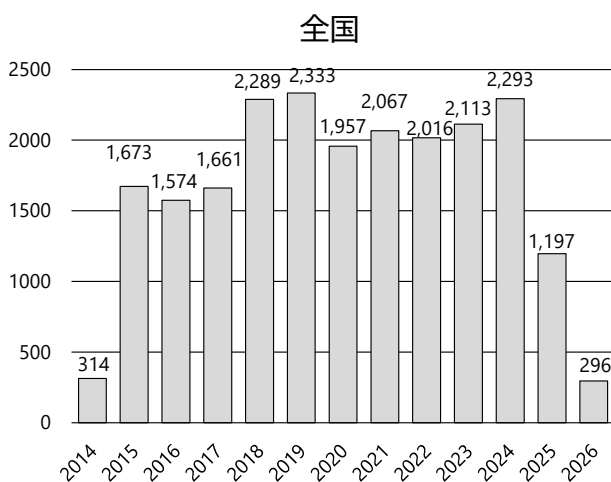


*1 MIC 2μg/mL以上またはディスク法阻止円径 22mm以下
*2 MIC 64μg/mL以上またはディスク法阻止円径 12mm以下
MIC: 最小発育阻止濃度

図1 CRE感染症の届出のために必要な検査所見の抜粋

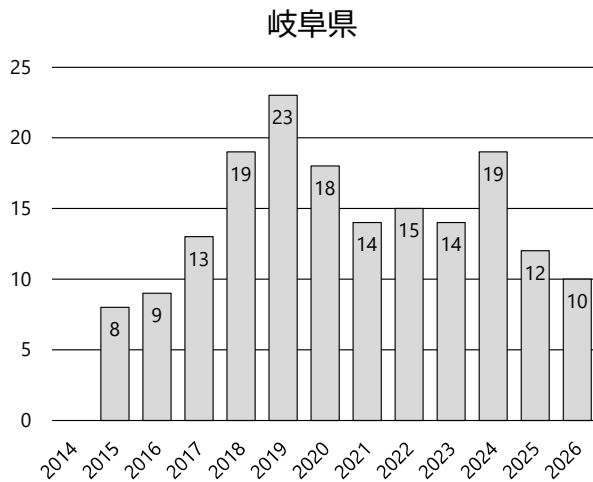
1

CRE感染症届出数の推移



全国
データ出典: JIHS 感染症発生動向調査年報、同週報
注)2014年は9月19日から
2025年は暫定値
2026年は4月19日時点の速報値

2025年4月7日～
届出基準変更



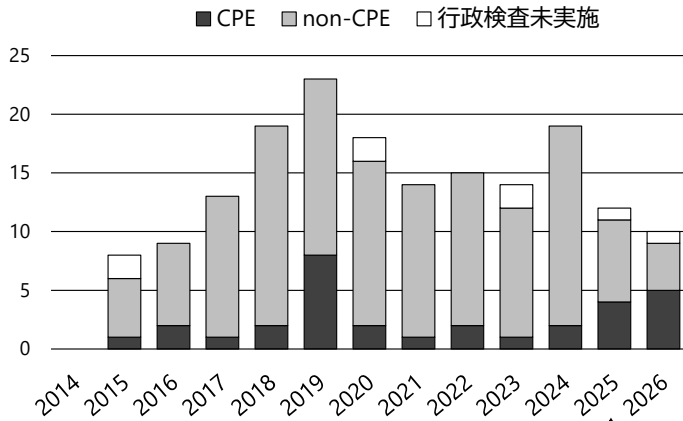
岐阜県
注)2014年は9月19日から
2026年は5月10日時点の速報値

2025年4月7日～
届出基準変更

2

岐阜県におけるCRE感染症の届出と保健環境研究所での検査状況

CPE/ non-CPE 別 CRE感染症届出数(岐阜県)



注)2014年は9月19日から
2026年は5月10日時点の速報値

2025年4月7日～
届出基準変更

- 原則としてCREの届出症例全例の分離株を保健環境研究所で検査
 - カルバペネマーゼ産生の有無
 - カルバペネマーゼ遺伝子型の確認
- CPEの割合
 - 届出基準変更前: 24例/149例(16%)
 - 届出基準変更後: 8例/17例(47%)

保健環境研究所におけるCRE検査状況

年	届出数	検査症例数	CPE	カルバペネマーゼ遺伝子型						non-CPE
				IMP-1	NDM	IMI	VIM	OXA-48	FRI	
2015	8	6	1	1						5
2016	9	9	2	2						7
2017	13	13	1	1						12
2018	19	19	2	1	1					17
2019	23	23	8	4	1	2			1	15
2020	18	16	2	1	1					14
2021	14	14	1	1						13
2022	15	15	2	1	1					14
2023	14	12	1		1					11
2024	19	19	2				1	1		17
2025	12	11	4	1	1		1	1		7
2026	10	9	5		2			3		4

注)2026年は5月10日時点